

透析業務アンケート

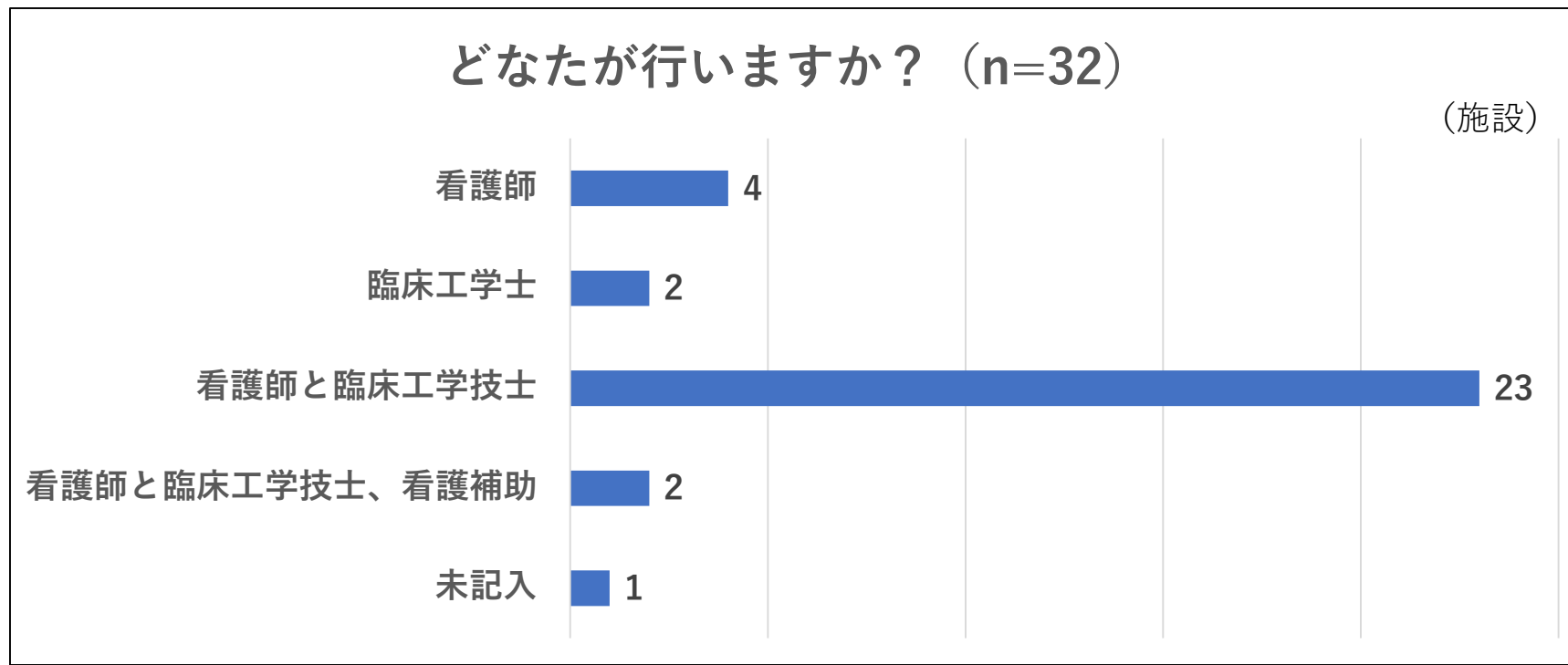
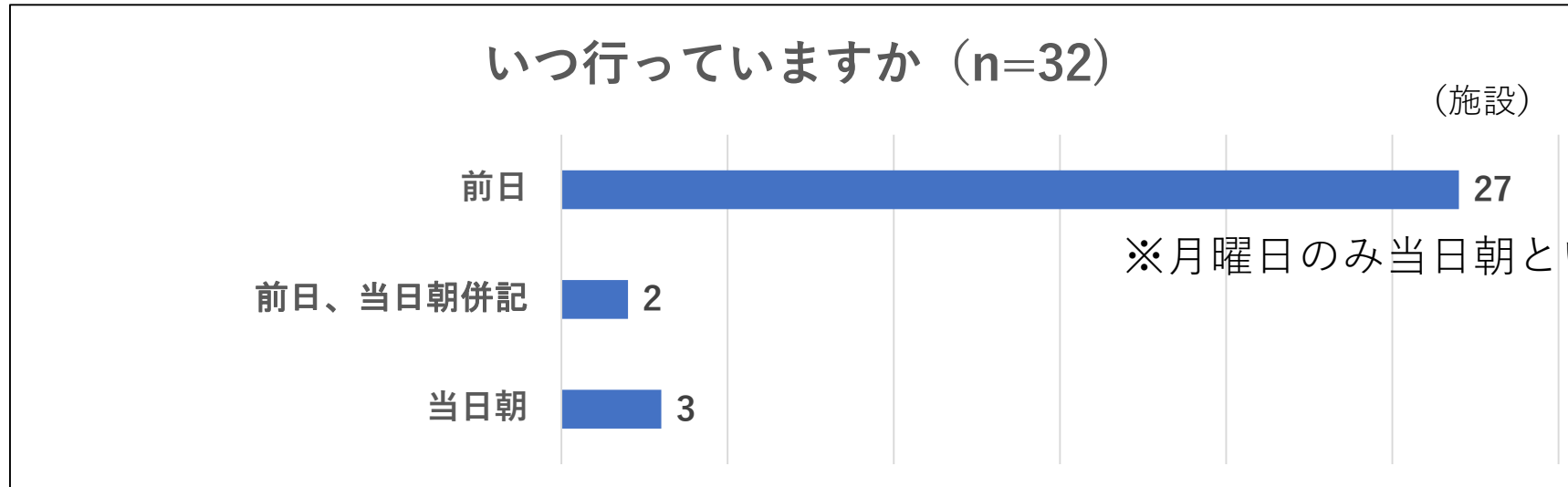
ー2019年度INNC研修会事前アンケートー

実施期間：2019年7月～8月15日

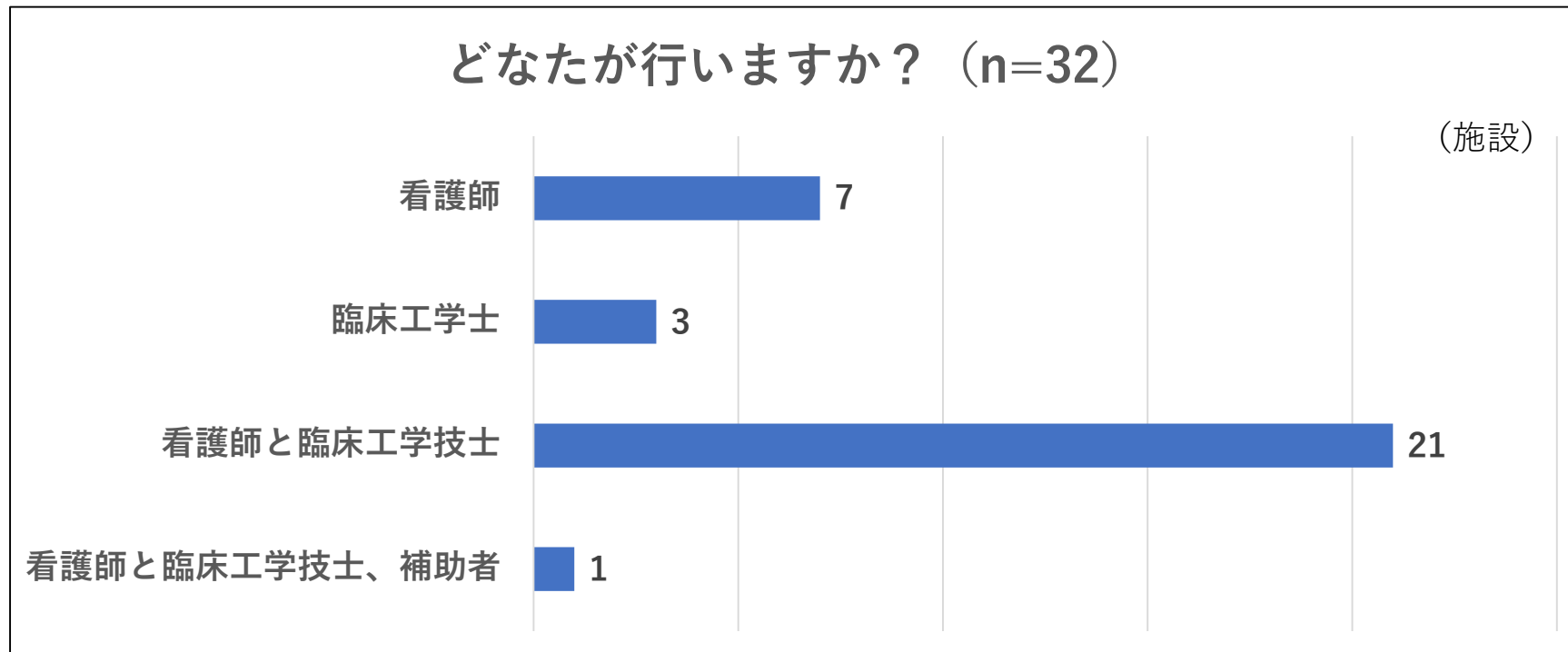
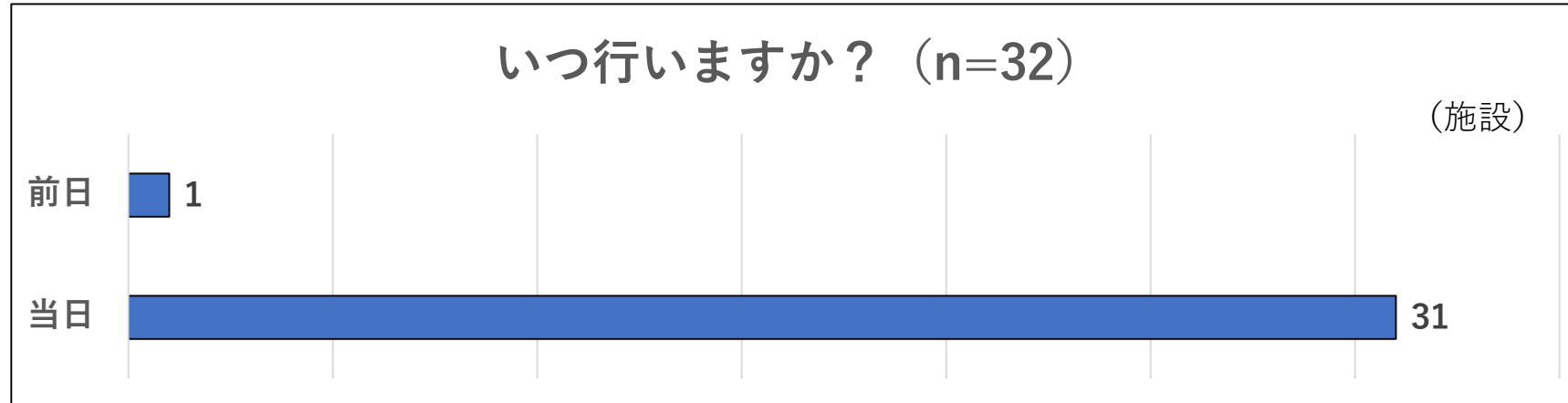
対象施設： 県内透析実施42施設

有効回収数（率）：32枚（76%）

透析回路のセットについて



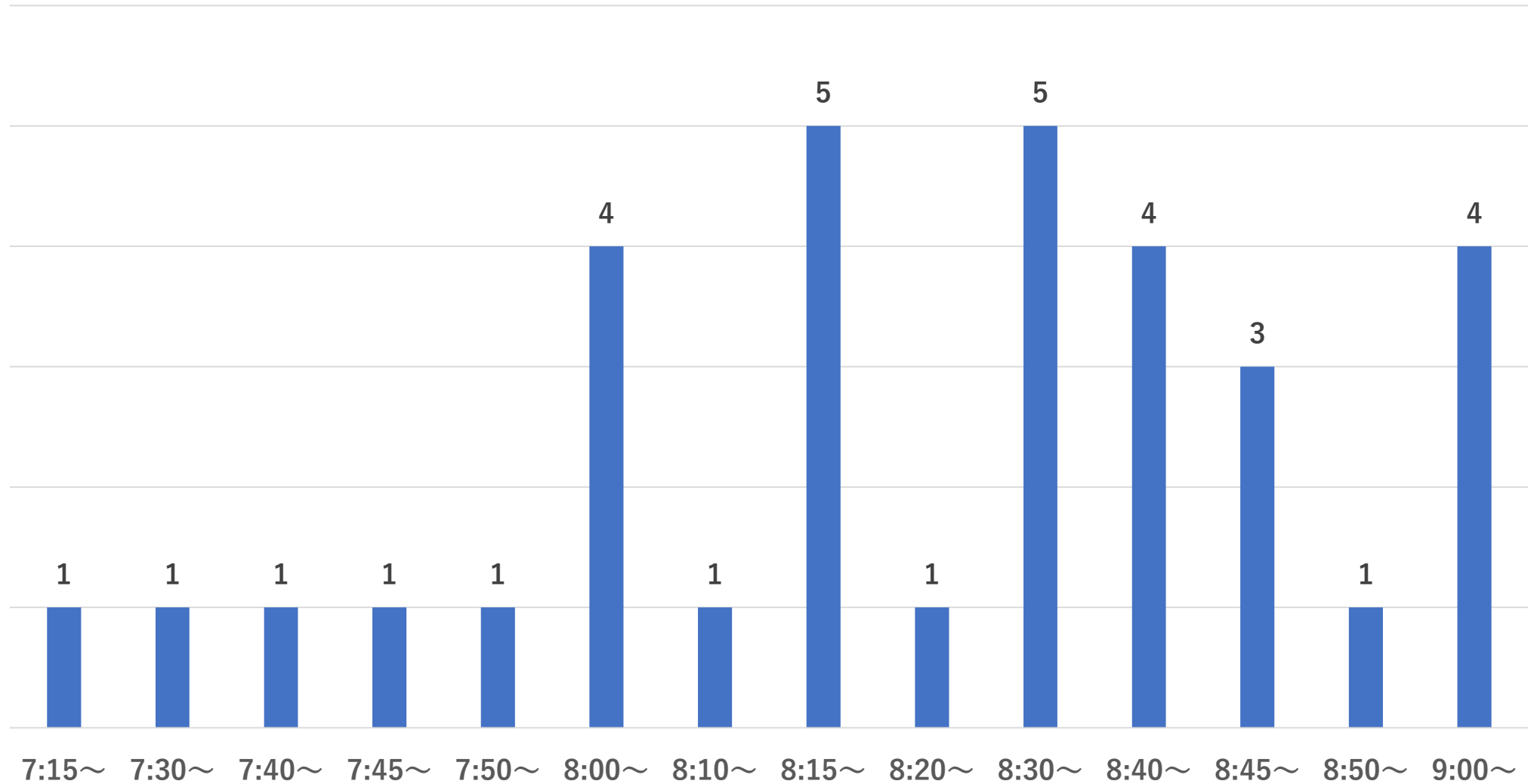
プライミングについて



穿刺の開始時間

午前中 (n=32)

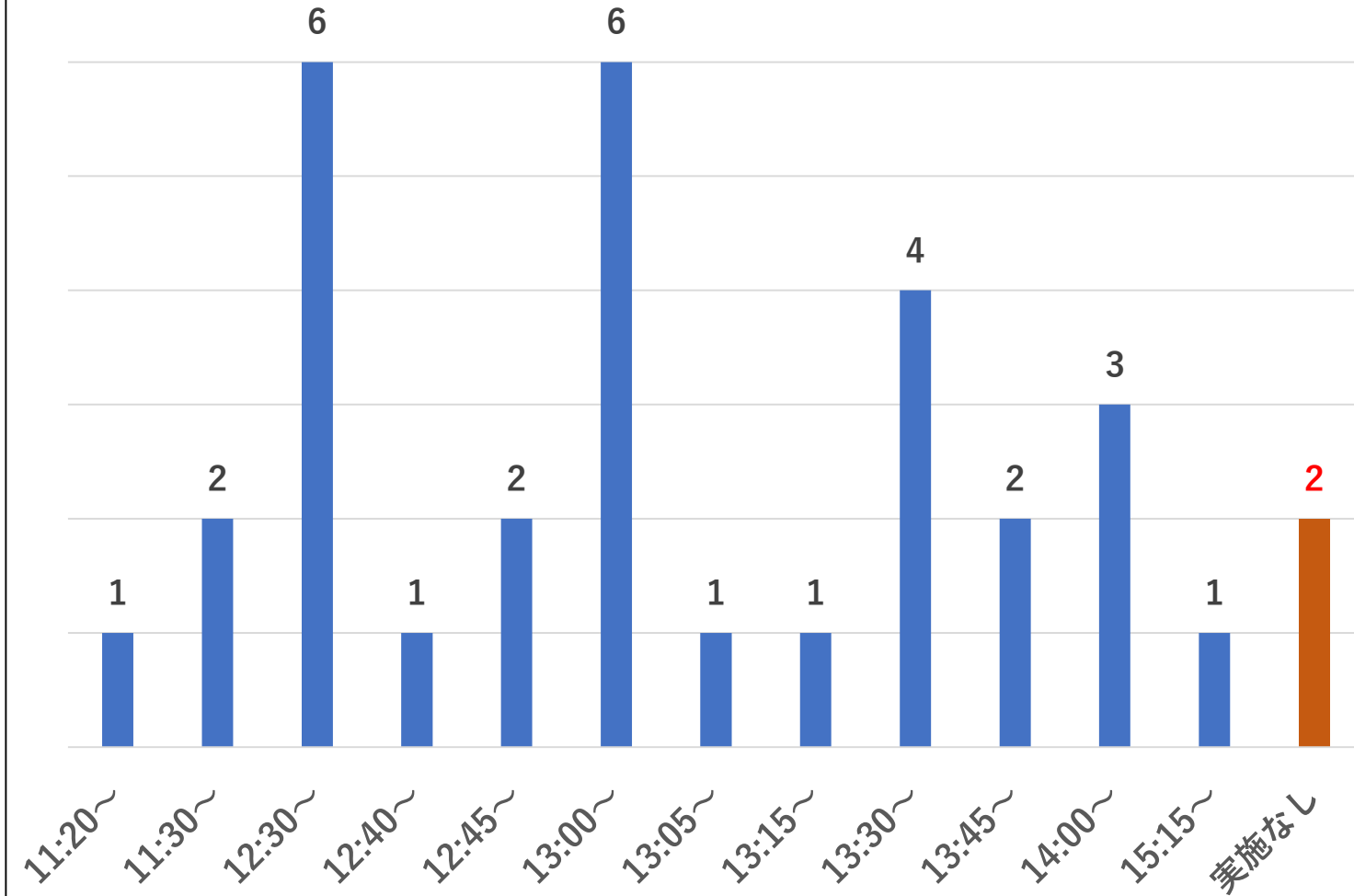
(施設)



穿刺の開始時間

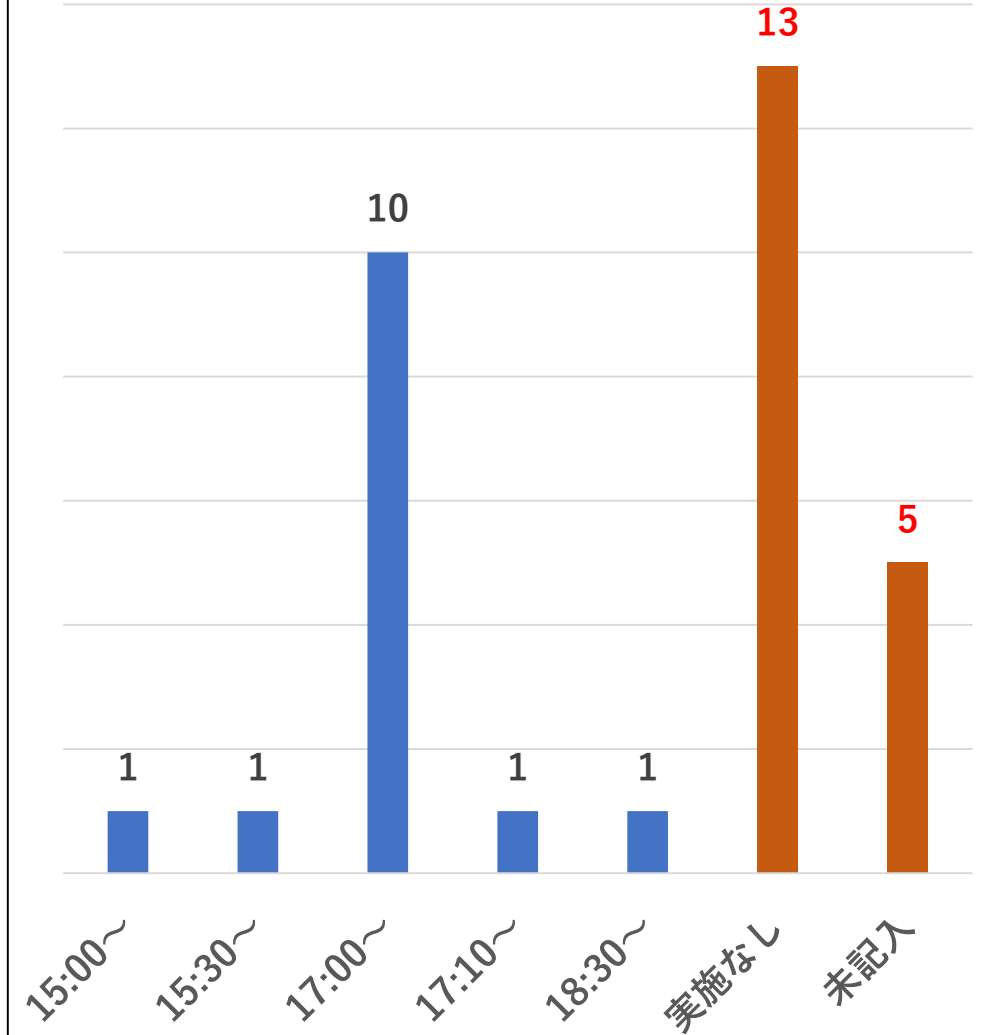
午後 (n=32)

(施設)



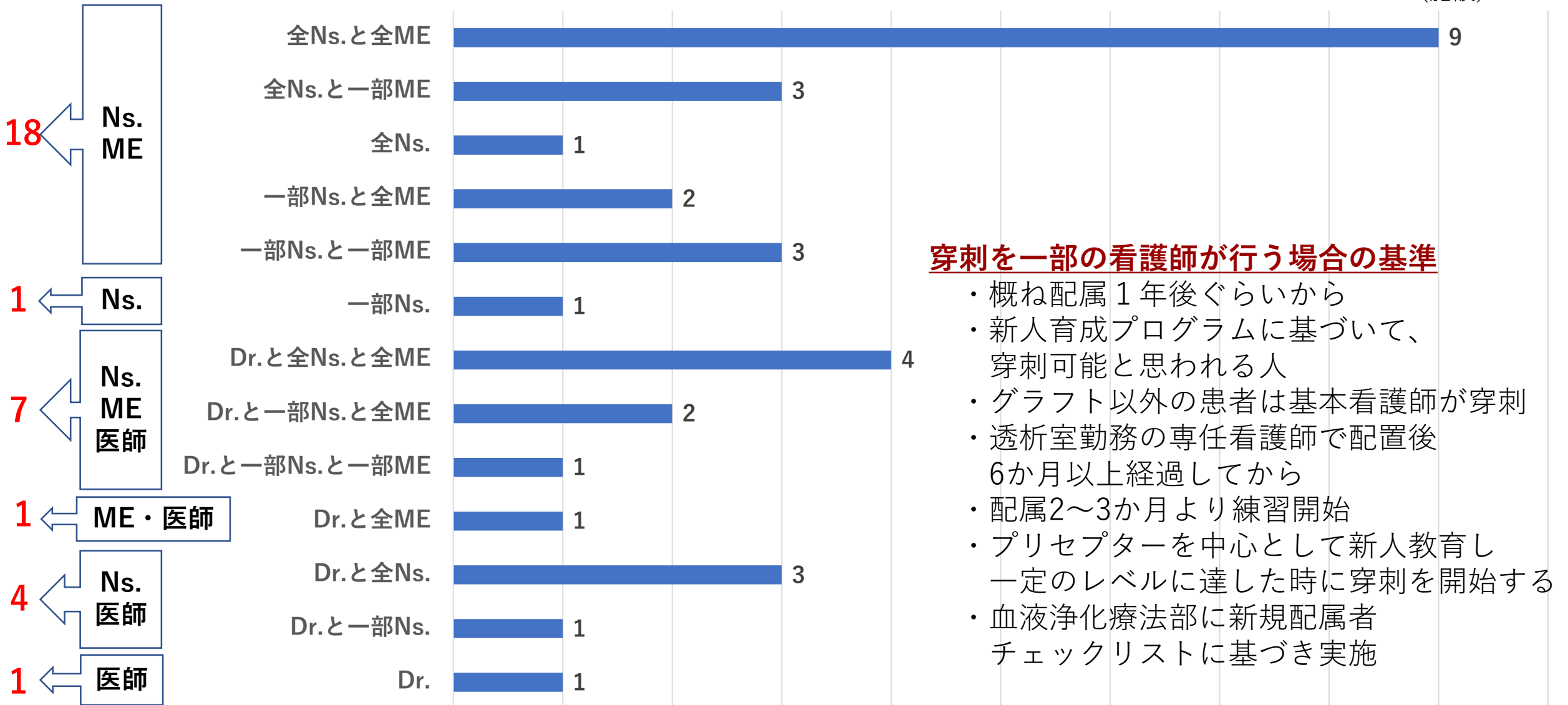
夜間 (n=32)

(施設)



穿刺を行うのはどなたですか (n=32)

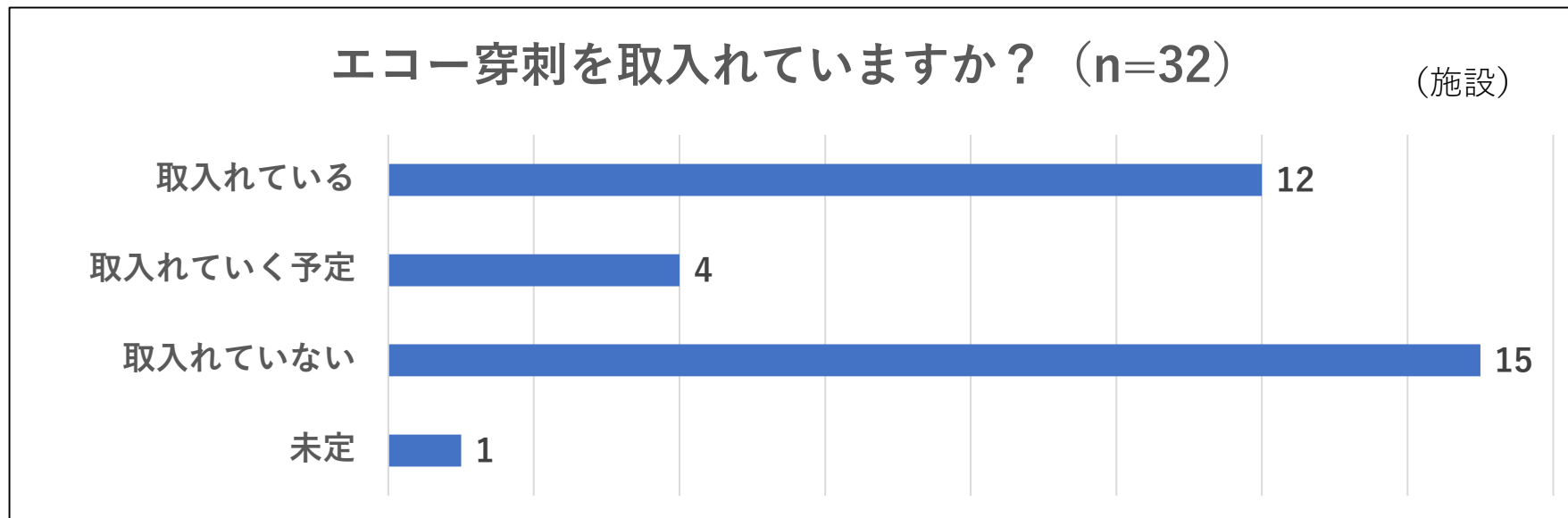
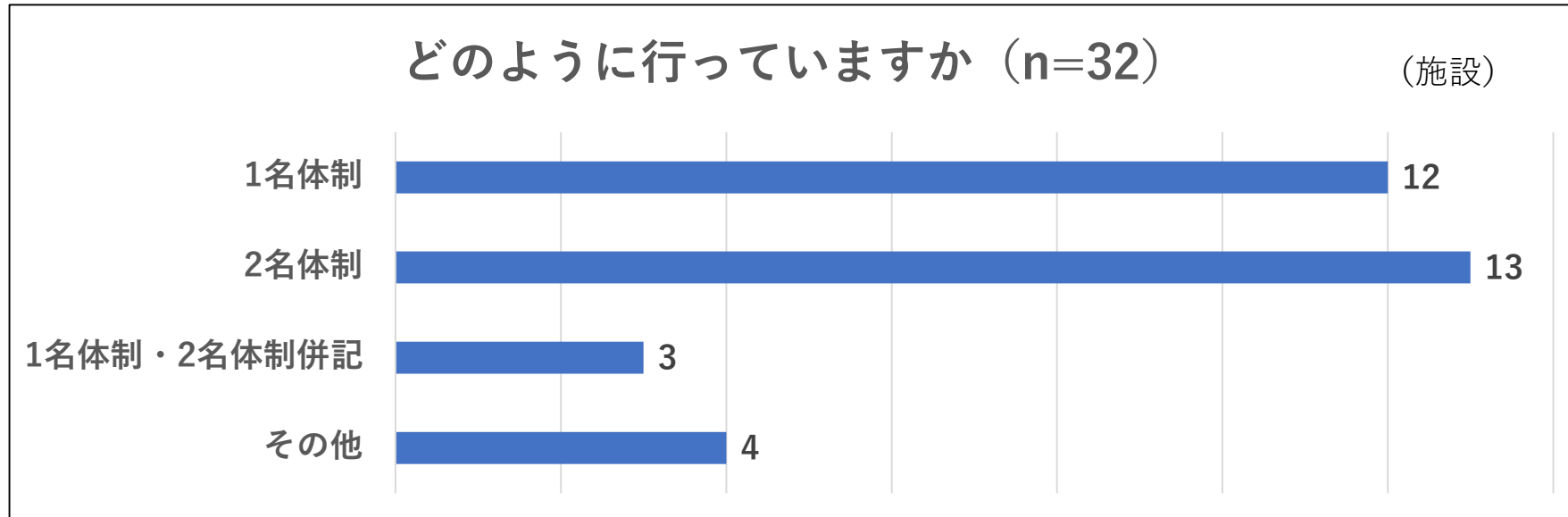
(施設)



穿刺を一部の看護師が行う場合の基準

- ・概ね配属1年後ぐらいから
- ・新人育成プログラムに基づいて、穿刺可能と思われる人
- ・グラフト以外の患者は基本看護師が穿刺
- ・透析室勤務の専任看護師で配置後6か月以上経過してから
- ・配属2～3か月より練習開始
- ・プリセプターを中心として新人教育し一定のレベルに達した時に穿刺を開始する
- ・血液浄化療法部に新規配属者チェックリストに基づき実施

穿刺について



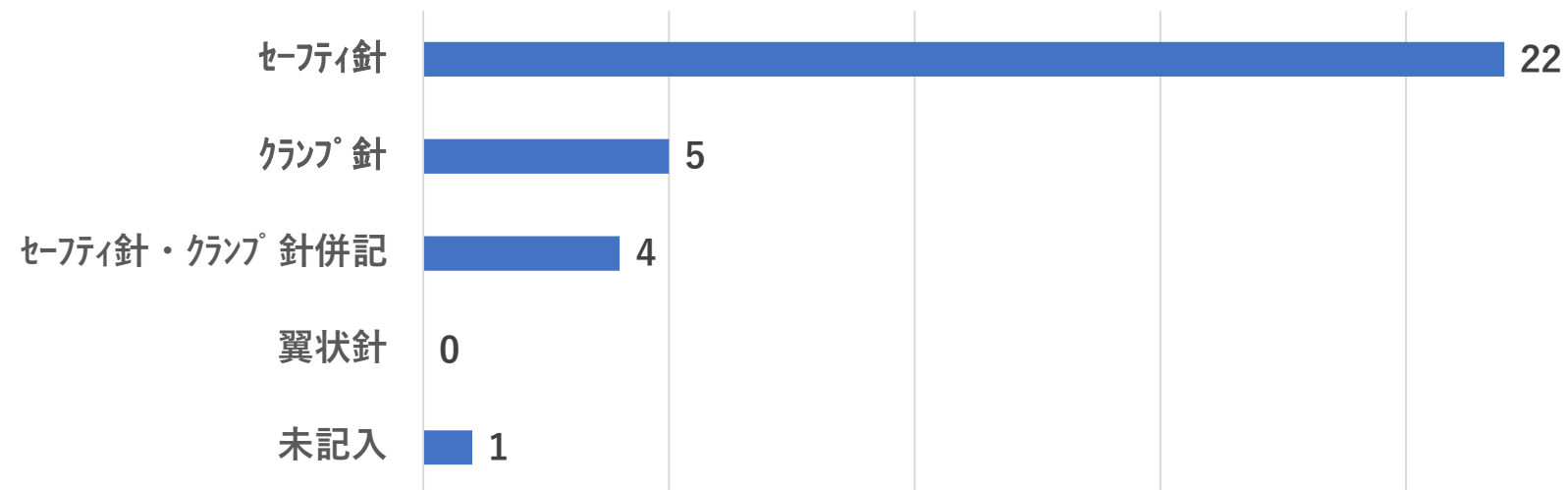
穿刺について

主に使用している消毒薬（n=32）※商品名の回答は一般名に変換しています

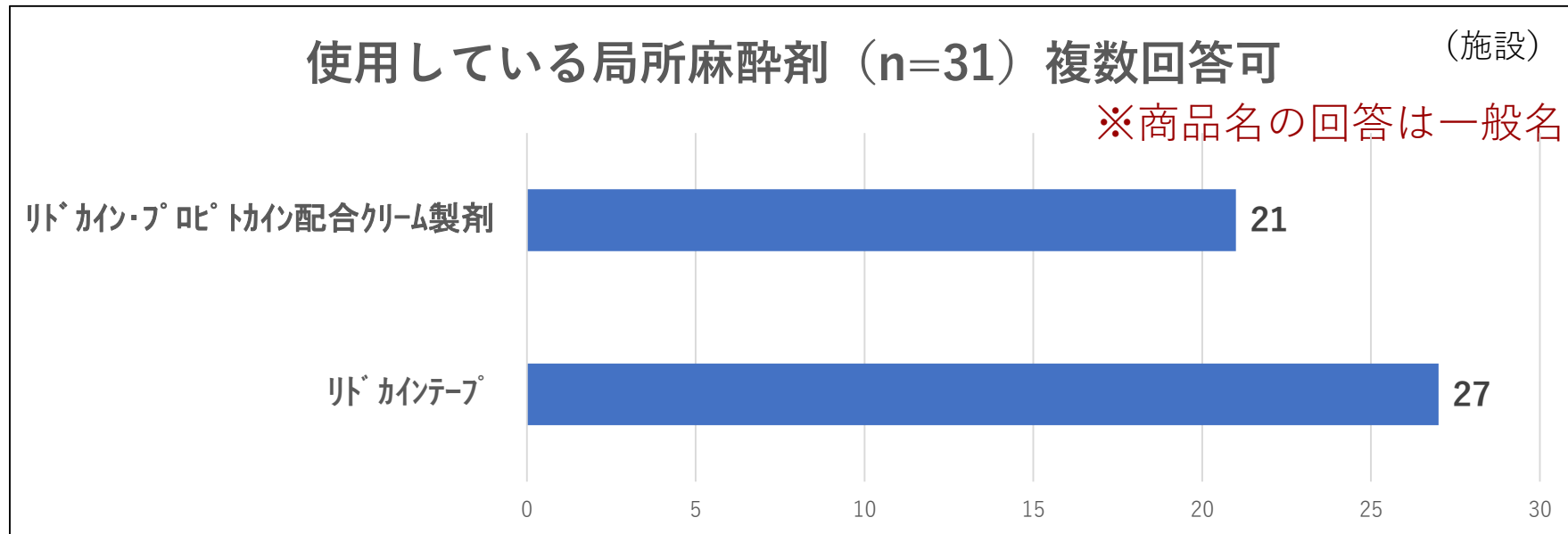
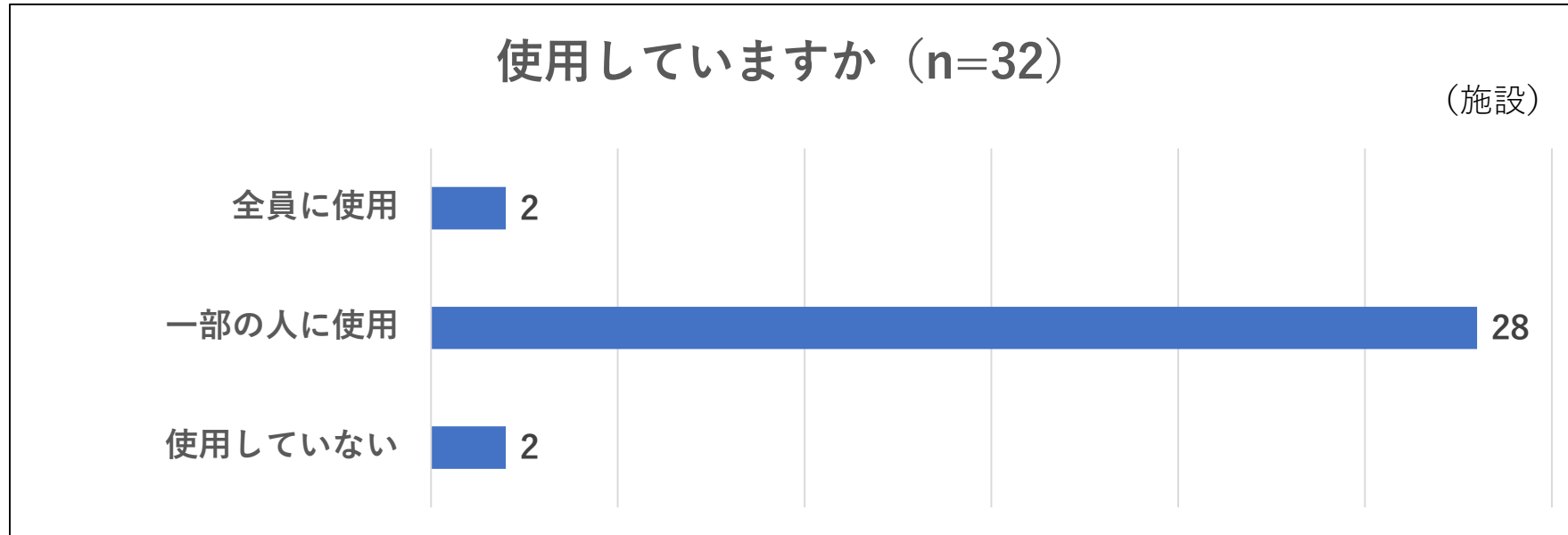


主に使用している穿刺針（n=32）

※商品名の回答は商品特徴から回答項目に分類して記載 (施設)



局所麻酔剤について

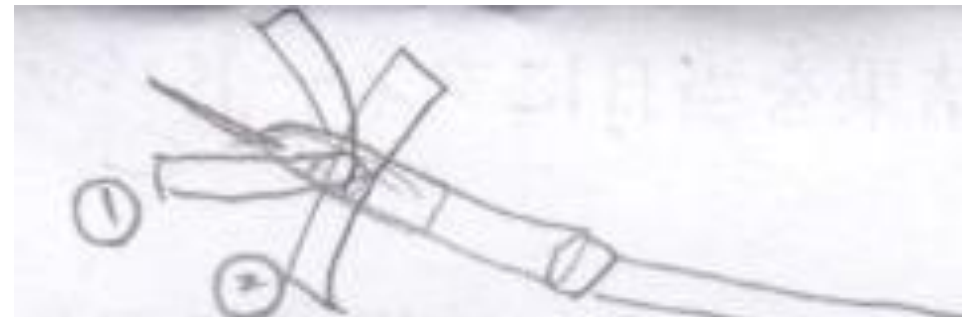
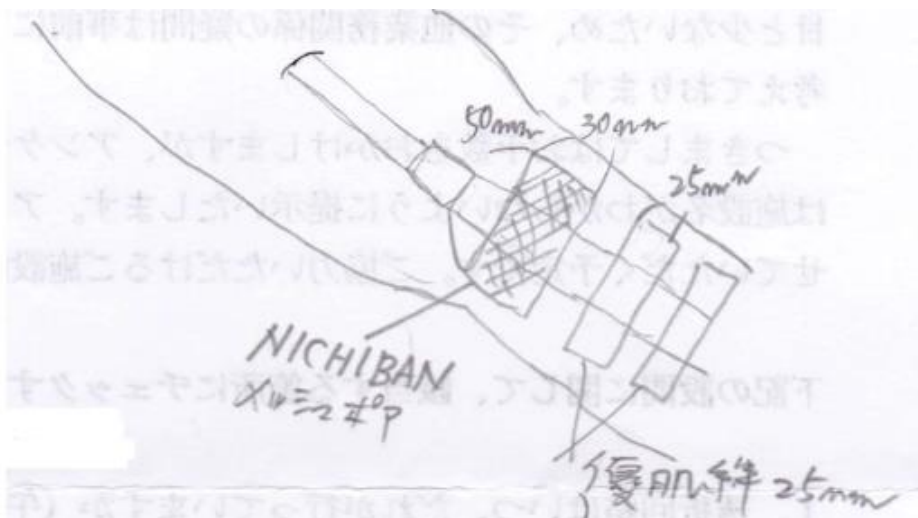


穿刺針、回路の固定はどのように行っているか

- ・ 穿刺針と回路。回路は2ヶ所以上
- ・ 穿刺針の下2ヶ所と回路2ヶ所、ループして止血ベルトで固定
- ・ 穿刺針下部に各1ヶ所、下部に向け2ヶ所
- ・ 穿刺針、回路を3ヶ所にオメガ貼り、2本まとめてループ
- ・ 針先を透明な大きなテープ（フィルム）、接続部より末梢に1ヶ所テープ、手首に2本まとめてテープをオメガ貼り、人によってはループ固定
- ・ 穿刺針の上に1ヶ所、回路に2ヶ所、オメガ貼り、必要時止血ベルトで腕ごと固定
- ・ 穿刺針、針と回路の接合部、回路は2ヶ所
- ・ 上腕をループにしている
- ・ 針の部分はサージット、回路2ヶ所、必ずオメガ貼り、手のひら1枚
- ・ 穿刺針はフィルムドレッシング、穿刺針と回路をテープでオメガ貼り
- ・ 穿刺針の下部2ヶ所、回路に1ヶ所
- ・ 接続部、回路など全ては7ヶ所
- ・ 穿刺針、回路を2ヶ所固定、その後針の下部に2ヶ所をカブレステープで固定、止血バンドでも固定、チューブは患者の手に持ってもらう
- ・ 穿刺針の下部2ヶ所をテープで止め、2本まとめてループを作り固定。止血バンドで上下2ヶ所回路を固定、シートで穿刺部を覆う
- ・ 穿刺部は滅菌テープ、回路は紙テープでA.V側それぞれオメガ貼り
- ・ A.V穿刺針各2枚、回路及び患者の手のひらなどに2枚、オメガ貼り、6枚は使用し+ α で補強
- ・ 穿刺針に1ヶ所、回路に3ヶ所
- ・ 穿刺部はドレッシングテープ、回路は50mmのテープでA.Vそれぞれをオメガ貼り
- ・ 穿刺針上2ヶ所、下部4ヶ所（A.V合わせて）、ループをつくり指で持たずにベルトで関節部固定

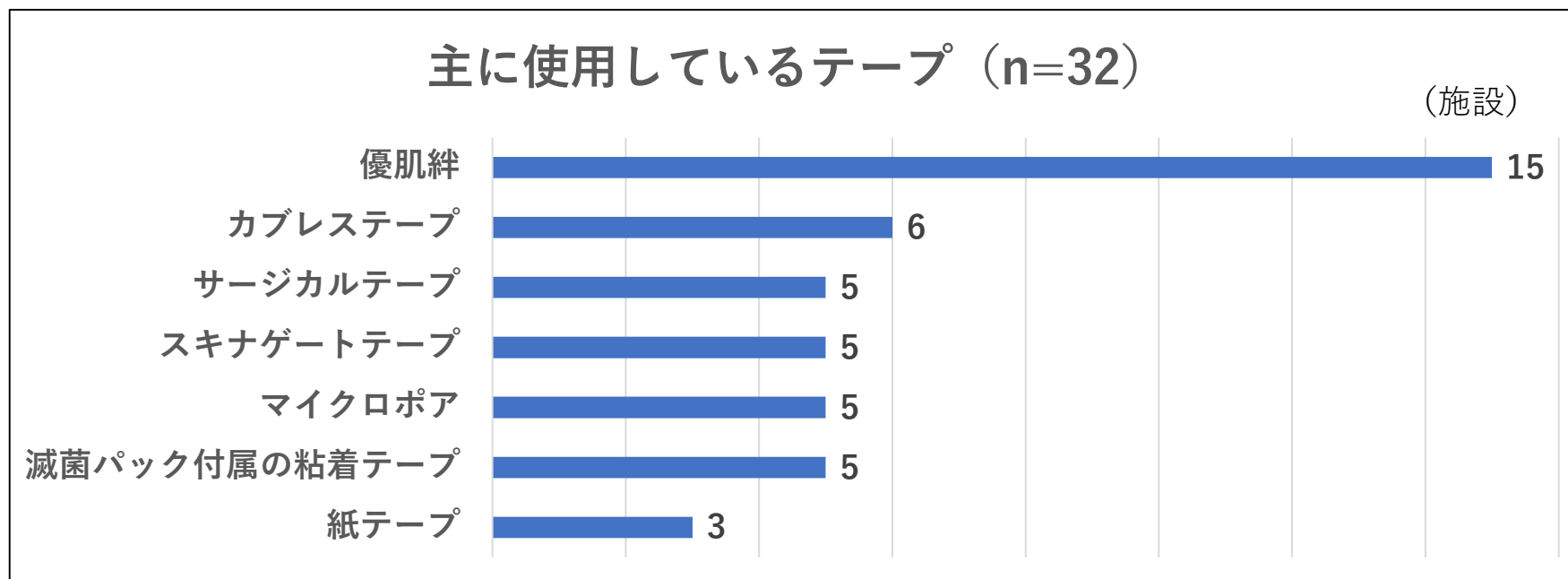
穿刺針、回路の固定はどのように行っているか

- ・オメガ貼りで穿刺針と回路をそれぞれに1カ所ずつ止めている
- ・穿刺針2ヶ所、回路2ヶ所、2本まとめてループで
- ・穿刺針、回路は2ヶ所、穿刺針の下部2ヶ所、1本ずつループでオメガ貼り
- ・穿刺針が隠れるようにツッペガーゼをのせ、その上にシルキーポア、回路は2～3ヶ所
- ・カニューラー～回路接続部～回路5cm程度をテープ剤で被覆（A.V2ヶ所）、2本まとめてループで手首にテープ固定
- ・穿刺針の下部2ヶ所、人工血管の場合2本まとめてループでテープをオメガ貼り
- ・穿刺部～穿刺針と回路の接続2ヶ所、回路はそれぞれ2ヶ所を2本まとめてループで2ヶ所
- ・穿刺針、回路は2ヶ所、その1ヶ所はループ固定
- ・穿刺針の下部1ヶ所、回路1ヶ所、接続部1ヶ所。合計3ヶ所（ルート2本で6ヶ所）
- ・透明ドレッシングに回路1本ずつクロス貼り1本、オメガ貼り2本（基本）
- ・穿刺針、回路2ヶ所、ルートは2本まとめて患者に持たせる



① 針の根元ループで固定 + オメガ1ヶ所定, 穿刺針下部 2ヶ所 1本ずつループで固定 + オメガ1ヶ所定

主に使用しているテープ



2施設が回答したテープ

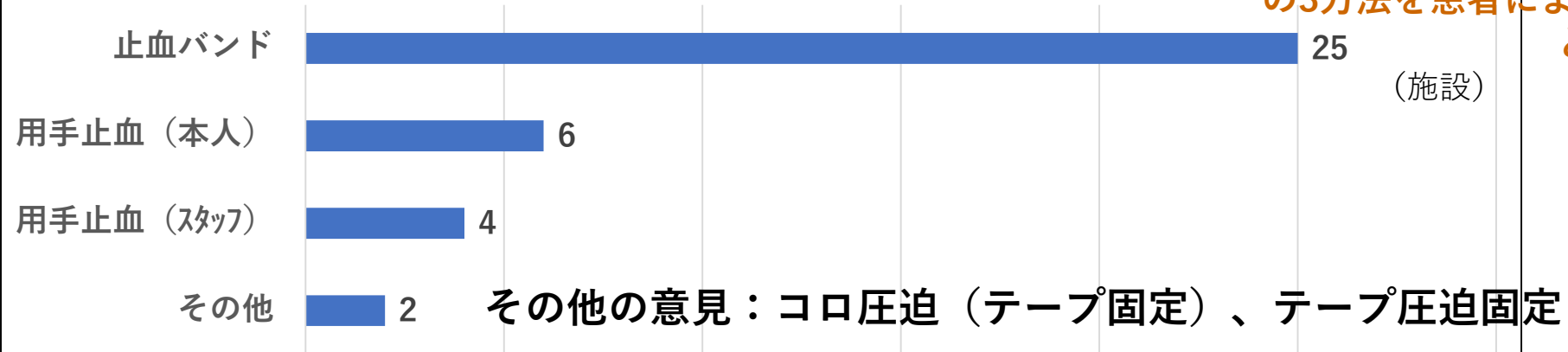
シルキーポア、スキナゲートスパット、肌色テープ、ビニールテープ、フィルムドレッシング
メフィックス素材のもの

1施設が回答したテープ

アルケア50mmテープ、グレンダーム、シリコン素材、G S、スキナゲートメッシュ、
スキントーンサー (3M)、3 M、ソフポア、注射絆、トランスポアサージカルテープ、不織布
プラスチックテープ、ベビースキン、ミルキーポア (ニチバン)、メッシュポア、メディカバン

止血について

基本的な止血方法（n=32）※複数回答不可

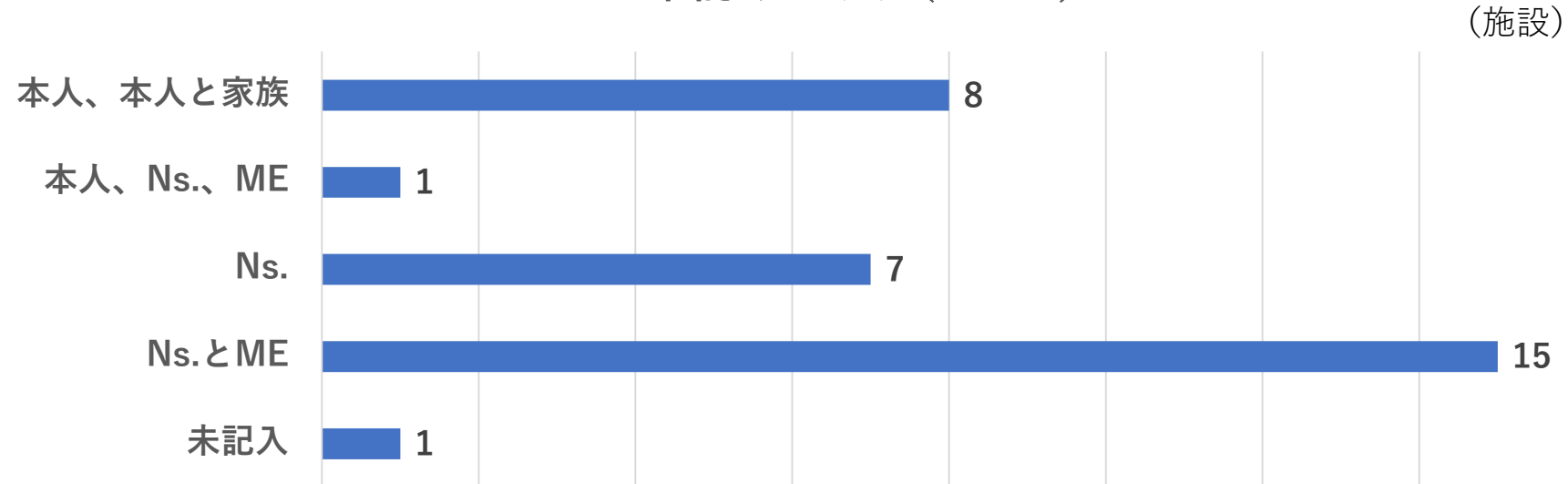


※3施設が複数回答あり

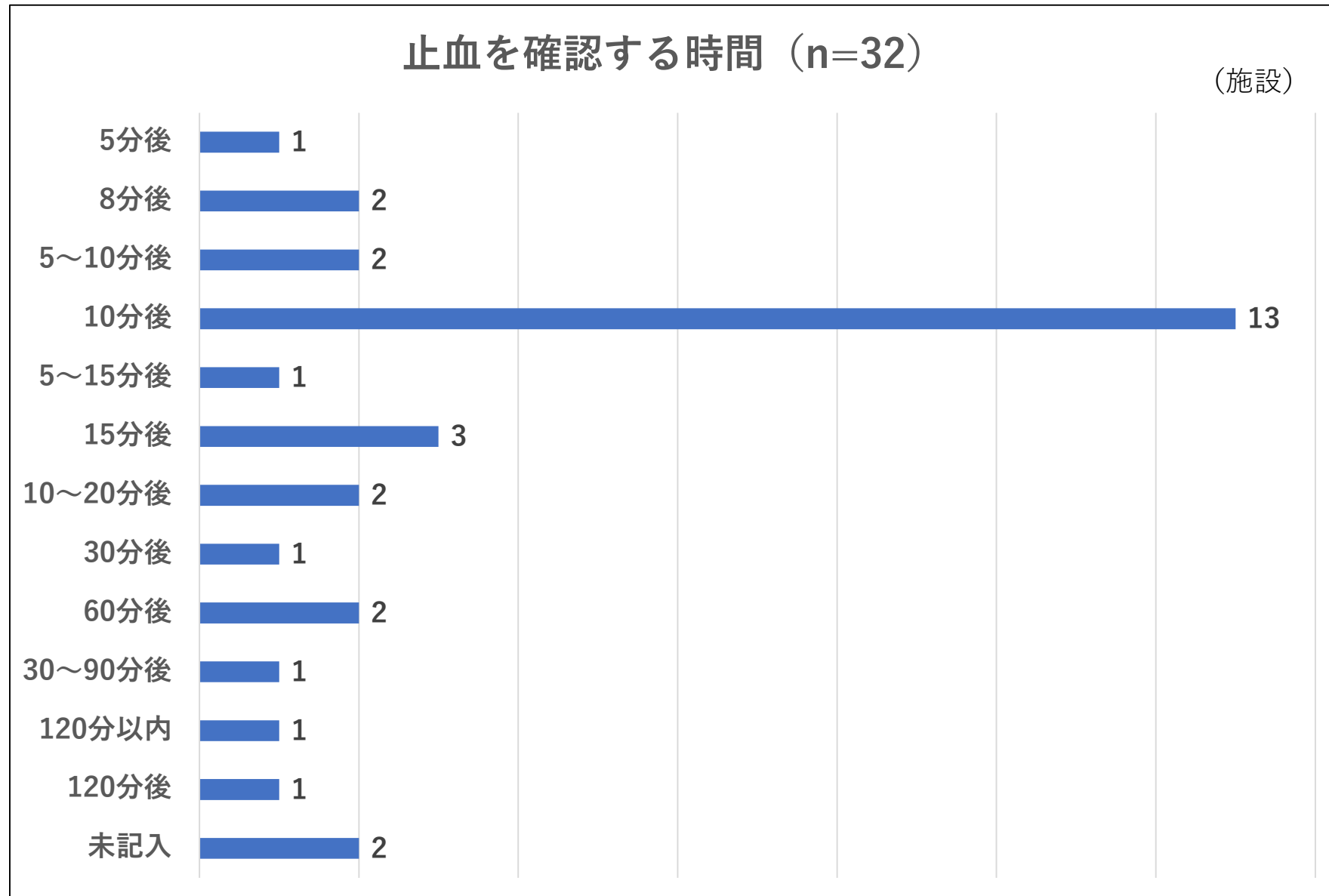
※止血バンド、用手止血（本人・スタッフ）の3方法を患者によって使い分けているとの回答が1施設あり

（施設）

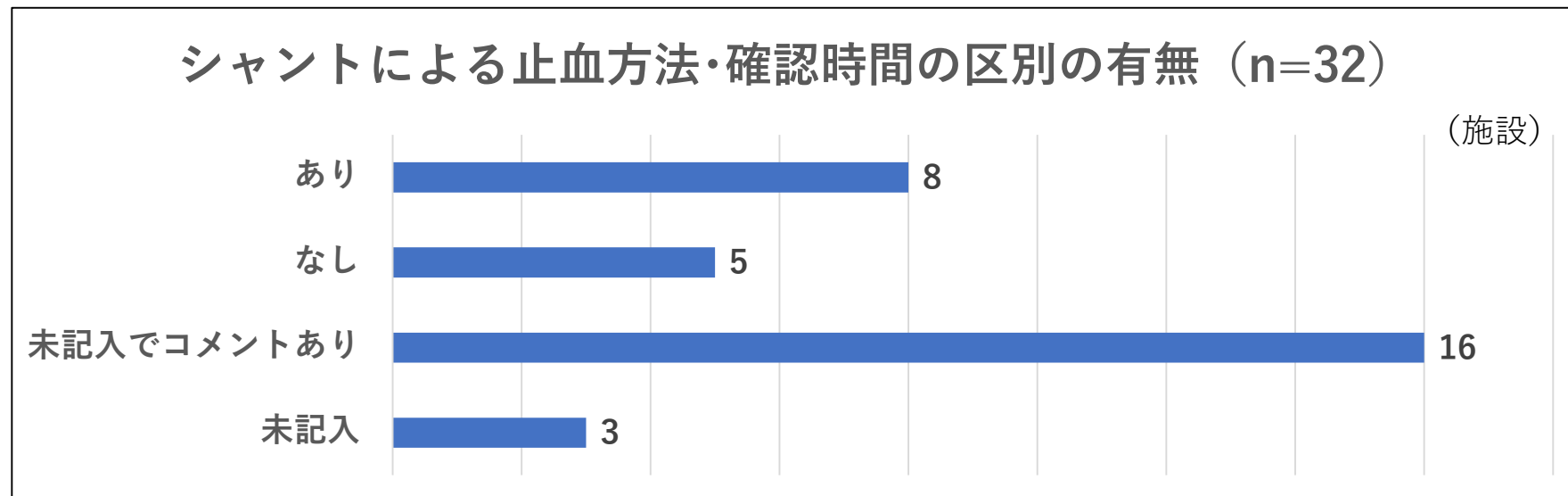
止血を確認する人（n=32）



止血について



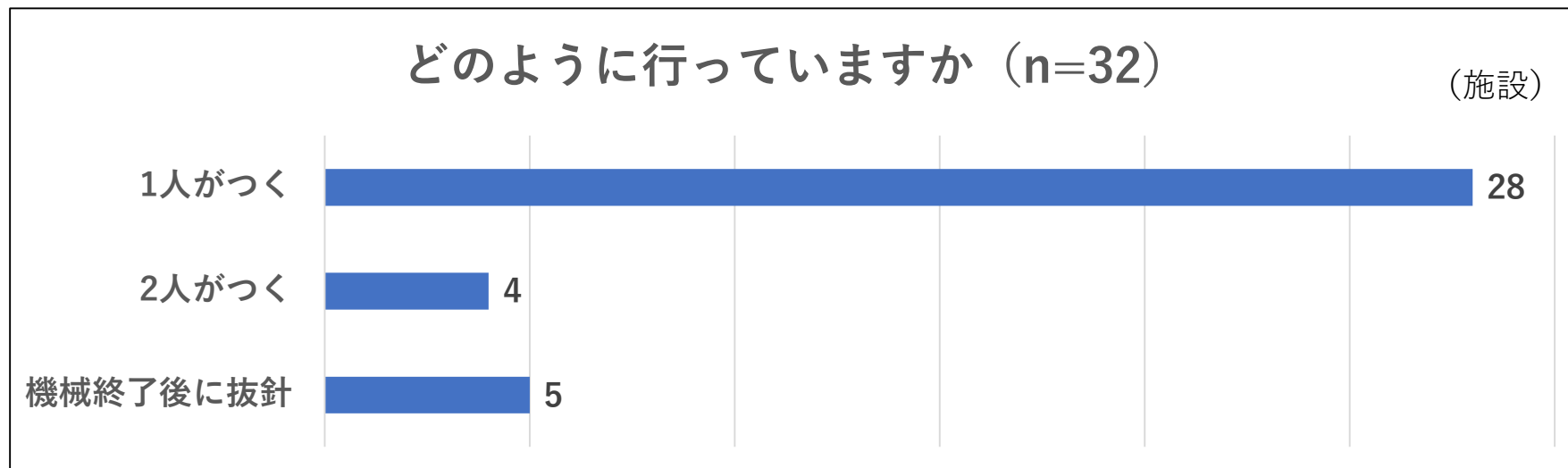
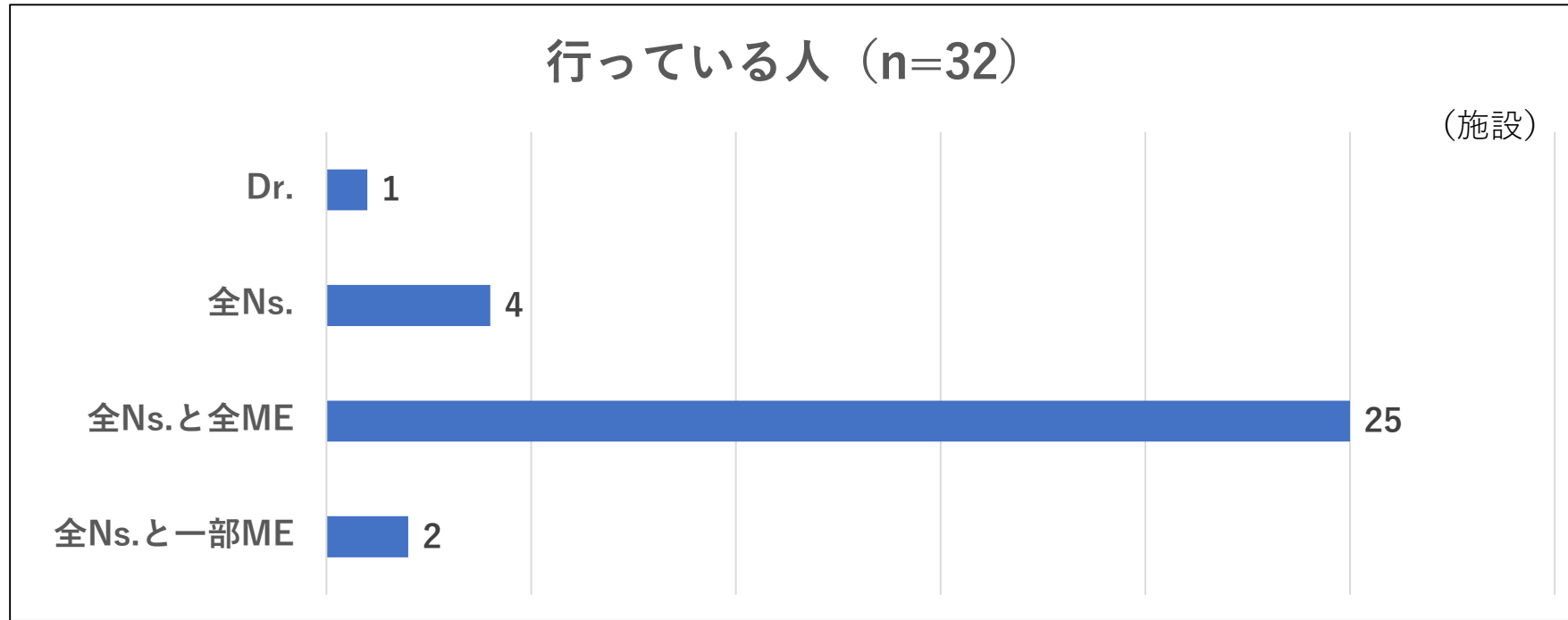
穿刺について



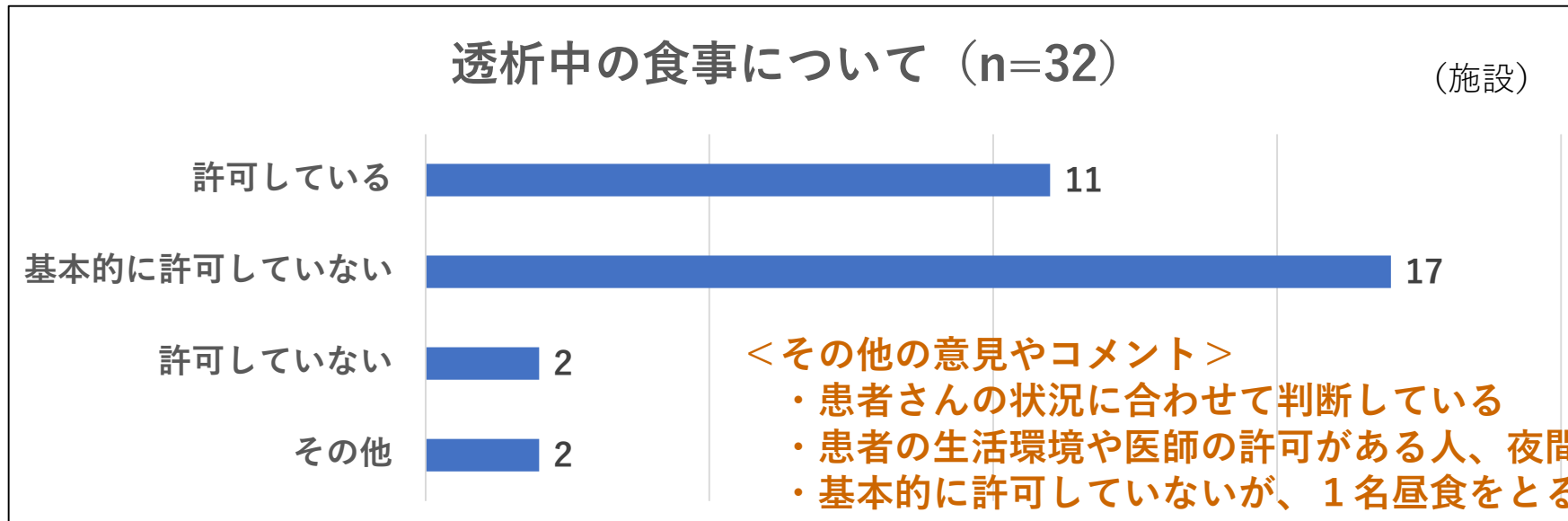
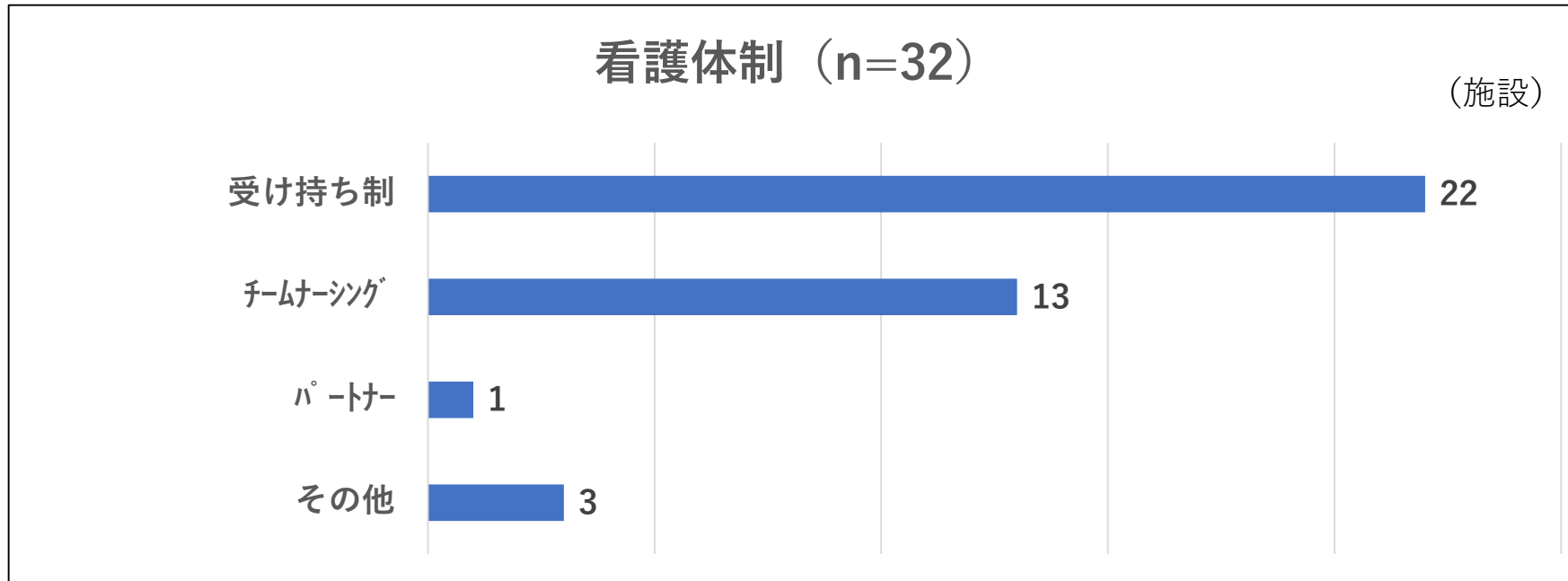
【コメントの内容】

自己血管は5～10分／自己血管はベルトが多く、人工血管は用手圧迫／人工血管は10分止血時間を長めにしている
自己血管はテープ固定、人工血管はスタッフで用手止血、閉塞しやすい方は用手止血し30分後に固定を外す
人工血管、動脈表在化はスタッフで行い用手止血を、HD室内で止血確認後退室／人工血管は医療者による用手圧迫
人工血管は用手圧迫にて10～15分程、ガーゼ圧迫止血／人工血管は1時間程度、シャントの状態によって指導している
人工血管は10分用手圧迫後、看護師確認（自己血管は圧迫綿と止血バンドでそのまま帰宅し、自宅で患者が確認する）
人工血管部はステプティで5分間用手止血（本人）が行っている／人工血管は用手止血で10分
人工血管の人で止まりにくい人は1時間程度、その人に合わせて決めている。圧の強い人はコロを使用して止血バンドを巻いている
人工血管・動脈表在化はスタッフが15分圧迫止血で対応しています／人工血管はスタッフが用手止血
人工血管と動脈表在化の場合は止血ベルトを使わず用手止血、医師・看護師・臨床工学技士
自己血管、人工血管の区別ではなく人によって止血方法を決めている／個人によるので特に区別を明確化していない
作製間もない自己血管内シャントや人工血管は用手で看護師や技師が止血している
シャント血管を作って間もない人は用手圧迫止血5～10分、他は止血バンド10分
シャント内圧が高く出血しやすいケースではバンドを使用、スタッフによる用手圧迫実施。シャント（AVFあるいはAVG）によつての区別はない／若干長めで15分程／自己血管の患者さんがいないので、特に確認時間の区別はありません

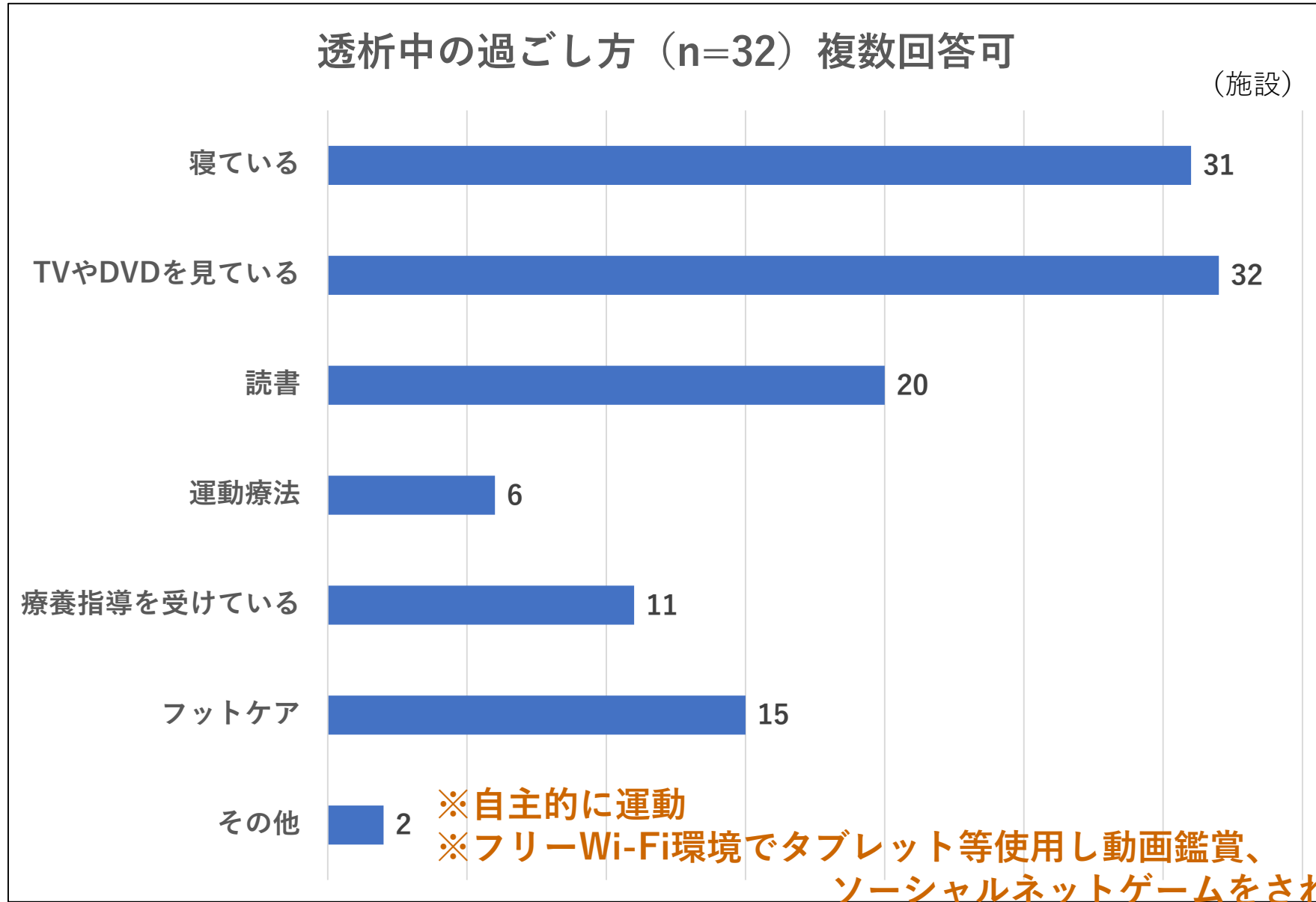
終了について



その他



その他



透析業務アンケート

ー2019年度INNC研修会事前アンケートー

ご協力ありがとうございました
m(_ _)m